

『でこぼこな絵』



4年 山崎 大輔くん

※紙を折ったり
まげたりした
形をつかって、
悪まのまちを
くふうして作
りました。



1年 鈴木 祐くん

※モスウがみず
あそびをして
いるところを、
ねんどでつく
りました。



『みずのぼうけん』



5年 佐藤 麻美さん

※普段の私の上
に一枚重ねる
と、おしゃれ
な私に変身し
ます。かざり
を工夫しまし
た。



『これが私・
これも私』



『うみであそんだよ』



2年 土屋 真也くん

※海であそんだ
ことを絵にか
きました。海
は広いので、
絵の具で色を
ぬりました。

あつまれみんなの力作



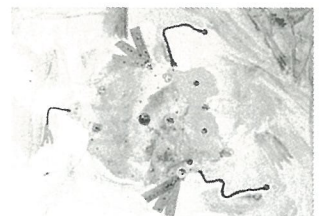
6年 山ノ先千翼さん

※一点、一画を
丁寧に書けま
した。書写の
時間は力いっ
ぱい取り組ん
でいます。



3年 齋藤真智子さん

※ローラー遊び
でできた形に
毛糸やビーズ
をつけておも
しろい形にし
ました。



『海の中の
ふしぎな魚』

小六
な大
山ノ先千翼
友切

母の日の電話に交す娘の優し
励まされつつ涙さし含む

評者詠 竹内 紀葉

白々と明けゆく庭の木々の間に
蜘蛛張り初むる糸光りおり
明けゆく朝に蜘蛛の糸の美しさが
表現されました。

土屋 好 (虫生)

庭先にガレージ建つと励む孫
日曜大工の鈍音高し
孫の立つる鈍音に満足の作者が見
えるようです。

藤代 敏子 (宮内)

楽しい馬車に揺らるるにつけ、過
ぎし日の苦難の逃避行が思い出さ
れます。

書写山の馬車に揺らる、道すがら
駄馬行軍の逃避行憶う
鈴木甲子幸 (白磯)

梅菌が無傷の吾の中指の
骨に食い入り激痛覚ゆ
無駄なくよく通った歌となりまし
た。

伊藤 定男 (尾垂)

